

— 特 許 記 事 —

最近の製鐵鋼業に関する發明

特許出願公告 (昭和 29—5—14)

公告番号	發明の名称	(發明者)	出願人
昭 29—2605	連続加熱炉に於ける複列押込機	(嶋崎定雄)	同人
〃 —2606	硬度、圧碎値を満足させ焼割れを防止する焼入法の改良	(中谷寿三)	同人
〃 —2608	チルド鋳物用鋳銑の精鍊方法	(上田哲三, 小平 博, 酒井佐敏)	

八幡製鉄株式会社, 関東特殊製鋼株式会社

取鍋中に於て鋳物用鋳銑に圧縮せる酸素又は空気をパイプより吹込み鋳銑の温度を常に摂氏 1200~1450度に保持しつつその鋳銑の含有せる諸成分の中珪素のみを酸化して急速に減少させる方法.

特許出願公告 (昭和 29—5—24)

昭 29—2806	粉鋳用鋳鋏炉装置	(中島統一)	同人
〃 —2807	粒大の異なる混合鋳石を完全燃焼せしむる壱形浮遊焙焼炉	(山越忠雄, 久保 康, 古田中勝彦, 安田泰治)	

日産化学工業 K.K.

〃 —2808	帯型焼結又は焙焼装置	(ドクターハーバート, ヴィッテンベルク)	
〃 —2811	遠心 鑄造機	(津田武夫)	同人
〃 —2818	不銹鋼鑄造材のガス切断方法	(北見喜次)	K.K. 日立製作所

特許出願公告 (昭和 29—5—29)

昭 29—2957	電気機器用珪素鋼板改良	(落合 治)	住友金属工業 K.K.
〃 —2978	骸炭炉に於ける上昇管弁開度自動調節装置	(宮田繁志, 嶋崎定雄)	嶋崎定雄

特許出願公告 (昭和 29—6—2)

昭 29—3105	低炭素鋼の熱処理方法	(中村 宏, 水馬克久)	同人, 同人
	切欠部分を有する炭素含有量の 0.7% 以下の炭素鋼材を高周波電流を以てその表面より中心部に至る迄加熱し, 然る後これを冷却する方法.		
〃 —3106	磁硫鉄鋳の処理法	(氷上克之)	同人
〃 —3108	鑄型輸送装置	(宇津 巖, 森本 功)	日立製作所
〃 —3110	永久磁石合金の鑄造法	(渡辺誠一郎, 平田作一)	日本特殊鋼 K.K.
〃 —3111	鉄鋼の酸洗いと廃液再生とを連続的に行う方法	(エドウィン, ディーマーチン)	
		インランドスチール, コンパニー (米国)	
〃 —3142	耐火用炭素質炉材の接合方法	(松田亀松)	八幡製鉄 K.K.